

ビックキャブレター KIT ケーヒン PC Φ 20 (当社製 STD シリンダーヘッド用) (STD: スタンダードの略)

商品コード	110-1020516
適合車種	シャリー FNO,CF50-1000001 ~
備考	○インテークポート径Φ 22 ~対応 ○ノーマルエアクリナー使用不可

この度はキタコ製品をお買い求め頂き誠に有り難うございます。説明文を良く理解して正しい取付を行って下さい。

■製品、装着についての注意 (必ずお読み下さい)

- このパーツは車両の吸気効率を向上させ、出力の増大や燃費の向上等、車両本来の性能を引き出すパーツですが、装着することにより、必ず車両の性能に見合ったセッティングが必要となります。セッティングが出ないまま走行しますと、性能低下や焼き付き、故障の原因にもなりますので、十分注意して下さい。
- このキャブレターはチューニング内容にもよりますが、排気量を拡大した車両に装着することを前提に開発されています。ノーマルの排気量に装着してもセッティングが出ない場合があります。
- このパーツはレース専用です。組み込んだ車両での一般公道走行はできません。また、クレーム等も一切ききませんので、御理解頂いた上での使用をお願い致します。
- このキャブレターの使用後は性能維持の為、必ず分解整備を行って下さい。
- 組み付け不良やセッティングミスによるキャブレター及び、エンジンその他関連パーツの破損やそれに伴う事故等については全て本人の責任とし、当社は一切の責任を負いませんのでご了承下さい。
- 取付説明書の手順通りに正しい取付をして下さい。又、記載されていない追加加工はしないで下さい。破損、事故の原因にもなります。
- 組み付け及び、セッティング作業は必ず整備士資格のある方が行って下さい。また周辺部品の役割等が理解できない方は必ず、専門店の担当者又は、当社までご相談下さい。
- 取付の際、必ず車種ごとのメーカーサービスマニュアルと合わせて取付作業を進めて下さい。
- エンジンの振動により、ボルト、ナット類が緩む可能性があります。走行前は必ず、各部のボルト、ナット類の締め具合を確認して下さい。
- セッティングには必ずメーカー純正品を使用して下さい。(メインジェット、パイロットジェット等)

当用紙はオートバイ整備の基本的な知識を持った方を対象にしています。技能や知識をお持ちにならない方は作業を行わないで下さい。	火気厳禁 作業中は引火性の非常に高いガソリンを使用しますので、タバコ等は厳禁です。	十分な換気をして下さい。 作業中は揮発性の高いガソリンを使用します。長時間密閉された室内で作業をしますと身体に有害です。	エンジン作動中、作動後はシリンダーやクランクケース、エキパイ等が大変高温になっていますので、不用意にふれてはいけません。	お気付きの点や、異常を発見した場合は直ちに走行を停止して、当社まで、ご連絡下さい。
--	---	---	---	--

■キャブレターについて (この項ではキャブレター装着時のセッティング方法を記載しています)

●**キャブレターのセッティングとは**
キャブレターはガソリンと空気を混ぜて、混合気を造る箇所です。ガソリンと空気の混ざり具合を「混合比」と言います。混合比は基本的に薄い、ちょうど良い、濃い3つに分類されます。キャブレターセッティングとはアクセル全開から全開まで「ちょうど良い」混合比を目指す事にあります。ちょうど良い混合比を確認するには「運転者本人のフィーリング」と「スパークプラグの焼け具合」で確認します。

※ベストセッティングはエンジンの仕様、気温、気圧、湿度により千差万別です。必ずとも正解が一つな訳ではありません。例えばセッティングを出しても、マフラーを交換しただけでセッティングが狂ったり、朝と夜、標高差、季節、天気によってもセッティングが狂ってしまうケースもあります。

本格的なキャブレターセッティングは慣らし運転終了後に行ってください。(セッティング作業はアクセル全開で行ったりします。慣らしが完了するまで仮セッティングで走行して下さい) 本格的なセッティング作業は十分エンジンを暖機させた後、アクセル開け始めから全開まで、様々なアクセル開度で一通り走行して下さい。走行時のフィーリングやスパークプラグの焼け具合を確認してセッティングして行きます。

キャブレターのベストセッティングとはプラグの焼け具合と走行フィーリングによって、確認します。スパークプラグの焼け具合は電極部分の焼け色で確認します。
全体的に黒い、湿っている→濃い
全体的に白い、電極が青みがかった黒色→薄い
全体的にキツネ色→ちょうど良い



図番号	パーツ名	商品コード	個数
1	キャブレター本体	401-1020506	× 1
-	マニホールド SET	410-1020316	× 1
2	マニホールドボディ	100-1020316	× 1
3	マニホールドパッキン	950-1015000	× 2
4	インシュレーター	999-1015001	× 1
5	M6 × 30 キャップボルト	060-0500030	× 2
6	M6 × 20 キャップボルト	060-0500020	× 2
7	ハイスロットル SET	901-1015000	× 1

■製品の保証について

- 製造には万全を期しておりますが、万一当社の製造上の原因による品質不良がありました場合は、同様、同数の新しい製品とお取り替え又は、無償修理致します。但しそれ以外の故障、破損、事故等についてのパーツの代金、修理保証、整備費用等の代金はご容赦下さい。
- 当社製品の保証期間は商品購入後から6ヶ月です。

211119 株式会社キタコ
〒577-0015 東大阪市長田 3-8-13
TEL.06-6783-5311 (代)
FAX.06-6782-0740

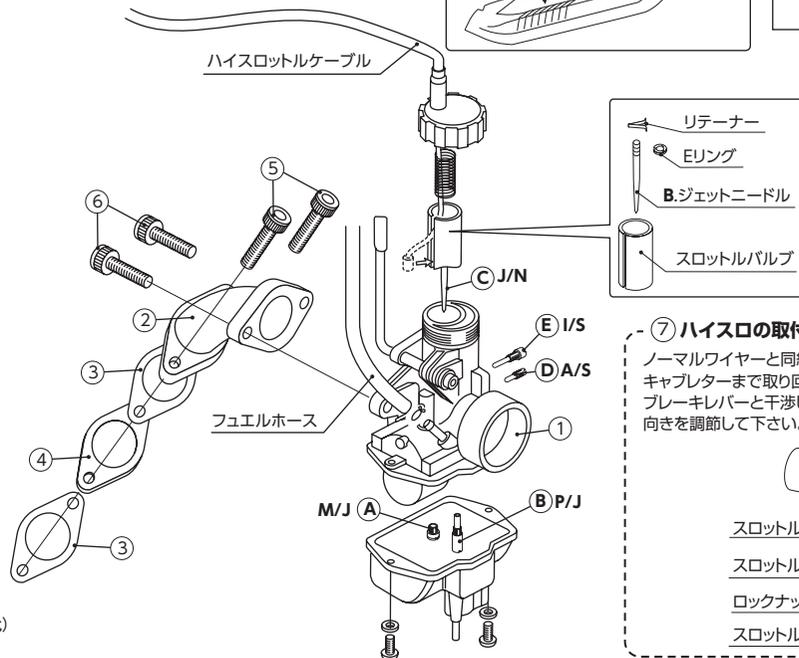
取付手順

この取付説明書は STD (スタンダード) ポアアップ KIT 装着車に取り付けることを前提に制作しています。

- ノーマル車や当社製ライトポアアップ KIT 仕様車に取り付けてもセッティングはできません。
- 1) キャブレターカバーのボルトを外して、キャブレターカバーを取り外します。
※装着の際キャブレターとキャブレターカバーが干渉しますので、取り外すか、干渉する部分をカットして下さい。
- 2) ハンドル右側のスロットルハウジングのビス2本を外して、スロットルハウジング、スロットルワイヤー、ノーマルスロットルホルダーを取り外します。
- 3) フュエルコックを OFF の位置に合わせ、キャブレターのドレンスクリューを緩めて、キャブレター内に溜まっているガソリンを全て抜いた後、キャブレターからフューエルホースを外します。
※ガソリン抜く際、ガソリンが流出しますので、受け皿等で受けて下さい。
- 4) キャブレターのエアクリナー側のクランプのビスを緩め、エンジン側のマニホールドの取付ボルトを外して、ノーマルキャブレターを取り外します。
※当社製キャブレターにはノーマルエアクリナーボックスは使用できません。
- 5) 付属のハイスロ SET をハンドルに取り付けて、スロットルワイヤーをノーマルワイヤーと同経路でキャブレター側まで取り回します。
※スロットルホルダー内側にはグリス、スロットルハウジング内側には潤滑剤を必ず塗布して下さい。
※スロットルの向きを間違わないように取り付けて下さい。
- 6) ノーマルのプレーキホルダー ASSY を使用する場合は、スロットルホルダーをずらしてセットしなければなりませんので、レバーホルダーの交換をお薦めします。また交換の際、ノーマルのスロットルハウジングにヘッドライトスイッチがあるタイプはスイッチも同時に設置して下さい。
- 7) スロットルワイヤーをキャブレターにセットしてから、KIT のマニホールド及び、キャブレターを図のように取り付けて、フューエルホースを取付ます。
※取付後、スロットルを全開、全閉と繰り返し、スムーズにスロットルバルブが動作するか良く確認して下さい。
- 8) フュエルコックを ON にして、エンジンをかけ、エンジン回転が正常に上昇するか良く確認して下さい。
- 9) このキャブレターにはノーマルエアクリナーボックスは使用できません。用途に合わせたパワーフィルター等をお求め下さい。
- 10) この KIT は予め標準セッティングをしておりますが、チューニング度合いによってセッティングが異なりますので、左記のセッティングマニュアルを参考にベストセッティングを施して下さい。
※一般公道で使用する場合は、必ずエアクリナーをご使用下さい。

細付参考図

A~D はセッティングパーツです。



- 基本セッティングについて
- ◆このキャブレターのセッティングパーツは出荷時下記の様になっています。セッティングを調整する場合は別紙のマニュアルを参考にして下さい。また、下記のセッティングパーツは当社にて取り扱っています。

A.メインジェット
ケーヒン丸形・小

※ #0-#2-#5-#8ステップ

B.パイロットジェット

C.ジェットニードル

●Eリング位置

D.エアースクリュー

左回し (薄くなる) / 右回し (濃くなる)

※全開から1回転半戻しが標準です。

E.アイドルスクリュー

左回し (下がる) / 右回し (上がる)

(ドレンスクリュー)

⑦ ハイスロの取付

ノーマルワイヤーと同経路でキャブレターまで取り回します。プレーキレバーと干渉しないように向きを調節して下さい。